

# 図書便り

情報コーナーでは、男女共同参画に関する約1,600冊の図書の貸出しを行っています。ぜひご利用ください！



特集

## DV・児童虐待 ～あらゆる暴力の根源にある支配～

11月22日（木）  
「私たちの中にあるDV」  
講座講師の著書

### デートDVと恋愛

伊田広行/著  
大月書店/刊

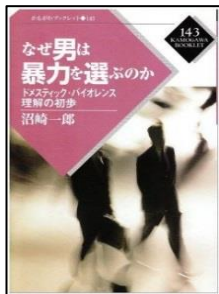
デートDVを学ぶ意義は、人と人との権力関係に敏感になり、「対等で非支配的、非暴力的な関係」「自己決定を尊重しあう穏やかな関係」をつくる力をつけるためだと著者。DV、デートDVの基本的な考え方から、実態、防止教育をまとめた1冊。



### なぜ男は暴力を選ぶのか ドメスティック・バイオレンス理解の初歩

沼崎一郎/著  
かもがわ出版/刊

DVの基本的知識から対応法まで、DVを理解するための入門書。「暴力はあくまでも手段であり、相手を支配するために男は選んでいる」と、日常起こりうる事例でDVを解説。



### 夫・恋人の暴力から自由になるために

ジニー・ニッキャーシー&スー・ディヴィッドソン/著 むらさき工房/訳  
パンドラ/刊 現代書館/発売

夫や恋人から暴力を受けている女性たちが自分の経験を見つめ直し、自分の生活を取り戻していくことができるよう、具体的な援助とその方法が示されている。「新しい自分自身の発見」は最初の一步を踏み出す力を与えてくれるだろう。



### 殴られる女 殴る男

酒井あゆみ/著  
二見書房/刊

男からの暴力で、彼女たちは何を得て、何を失ったのか。「暴力を受けることで、誰もが自分自身を見つめ直すようになっていくことだけは確かだと思う」との言葉が印象的。彼女たちの心の奥底の叫びに迫ったルポタージュ。





## 子どもをいじめるな

梶山寿子/著  
文藝春秋/刊

「虐待の連鎖」の実態やいじめられる子どもたちの精一杯の叫びを取材。「子どもたちを傷つけ救済の手を差し伸べなかったことに対する代償は、家庭や社会の安全を脅かすという形でやがて大人の身にふりかかってくる」と、著者の意図することは何か。

## 子どもを愛せなくなったあなたへ ちいさなわたしをだきしめて

椎名篤子/著  
集英社/刊

子どもを“殴ってしまいそう”から“本当に殴る”までの間には、心に残されたままの辛くて悲しい感情があるという。児童虐待に至るまでには何が起きているのか、その背景が見えてくる。

## 新着図書

## 傷ついたあなたへ2 わたしがわたしを幸せにすること DVトラウマからの回復ワークブック

NPO法人レジリエンス/著  
梨の木舎/刊

誰にも話せず、一人でDVやトラウマを乗り越えるには困難が伴う。自分に起きたことと向き合い、自分を大切に生きていくためのワークブック。自身の回復力（レジリエンス）を引き出す多くのヒントが詰まっている。

12月3日（月）  
「DVの中で生きる子どもへの  
視点と支援」講座講師の著書

## 子ども・家庭支援に役立つ面接の技とコツ

宮井研治/編  
明石書店/刊

子どもの発達・非行・虐待相談で、相談者が「相談してよかった」と思える面接を行うにはどうすればよいか。児童福祉の現場で家庭支援に長年に携わってきた9人の専門家が豊富な事例を元にそのヒントを解説。

## 情報コーナーの利用について

貸出：1人2冊まで、2週間（延長可）

対象：長岡京市在住・在勤・在学の人

※図書の貸出しには

「情報利用者カード」の登録が必要です。

カードの登録には、運転免許証など、本人確認が出来るものをお持ちください。

紹介した本は情報コーナーで貸出しています。  
他にも同ジャンルの本や新着図書がたくさん  
あります。職員におたずねください。

◇編集・発行◇

長岡京市女性交流支援センター

〒617-0833

京都府長岡京市神足2丁目3番1号

長岡京市立総合交流センター6階

TEL 075-963-5501 FAX 075-963-5521

E-mail: josei-c@city.nagaokakyo.lg.jp

開館時間：午前9時～午後5時（日・祝を除く）